

MD050_SPF_COS_009 受注出荷帳票	説明: 受注入力後、および販売実績データ作成後に出力する帳票	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2012/09/27	更新者	SCSK 高崎	Ver.	
--------------------------	--------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	------------	------	--

処理概要

受注入力後に出力する帳票

システム利用者

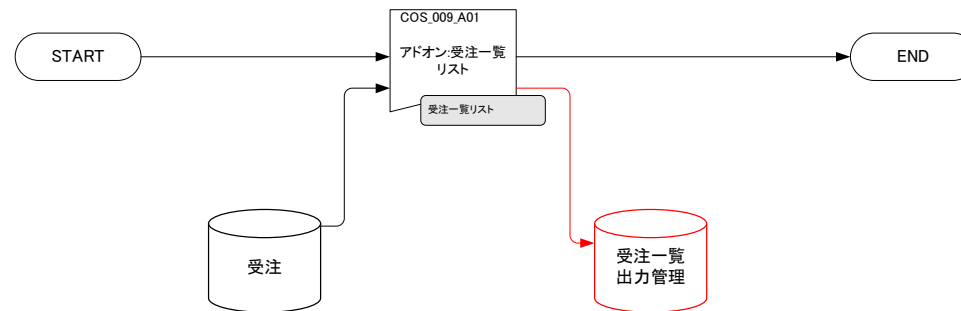
拠点 内務担当者、百貨店課 内務担当者、専門店課 内務担当者、特販部課 内務担当者、
通販部課 内務担当者、国際部 内務担当者

処理タイミング、その他

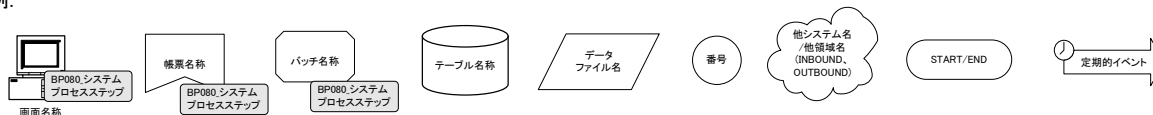
- ・随時。
- ・EDI取込からの入力済み（エラー品目）データも出力の対象とします。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位（標準機能含む）で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、（→① / ①→）のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_009 受注出荷帳票	説明: 受注入力後、および販売実績データ作成後に出力する帳票	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS宮田	Ver.	
--------------------------	--------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要

販売実績データ作成後に出力する帳票

システム利用者

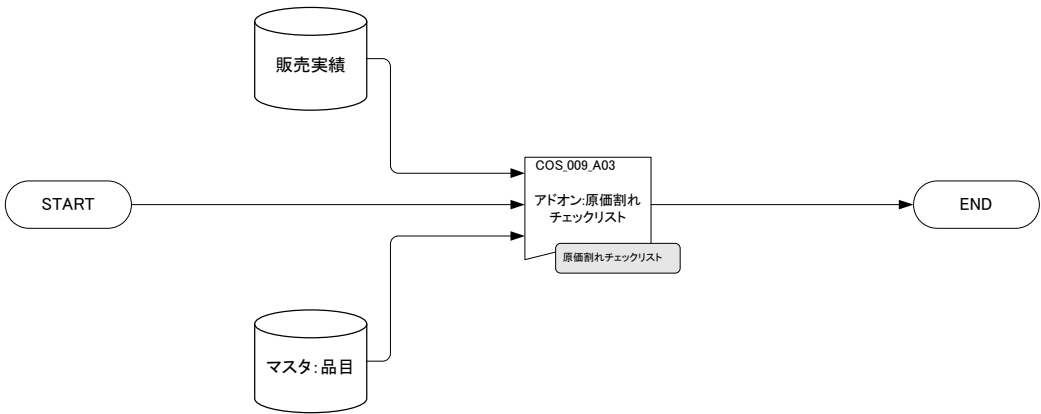
拠点 内務担当者、百貨店課 内務担当者、専門店課 内務担当者、特販部課 内務担当者、
通販部課 内務担当者、国際部 内務担当者、業務管理部、地域統括

処理タイミング、その他

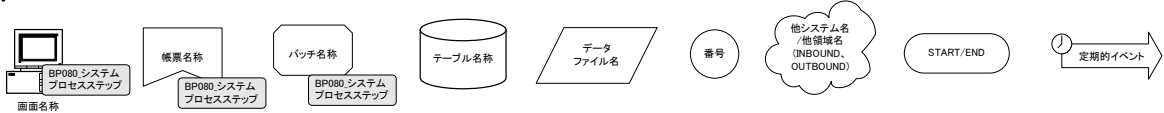
- ・随時。
- ・EDI受注、クイック受注(画面)から作成した販売実績を対象とします。
- ・消化計算の商品別売上計算(百貨店／専門店)から作成した販売実績データを対象とします。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_009 受注出荷帳票	説明: 受注入力後、および販売実績データ作成後に出力する帳票	作成日	2008/08/28	作成者	SCS関口	更新日	2009/03/13	更新者	SCS宮田	Ver.	
--------------------------	--------------------------------	-----	------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------	------	--

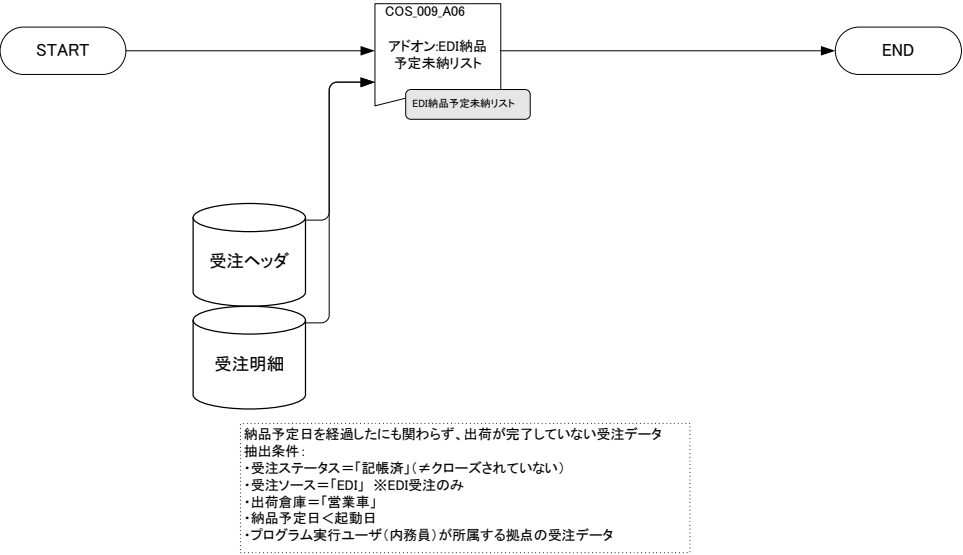
処理概要
EDIにより受注し、HHTへの連携が発生している受注データを対称に出力する帳票

システム利用者
拠点_内務担当者、百貨店課_内務担当者、専門店課_内務担当者、特販部課_内務担当者、
通販部課_内務担当者、国際部_内務担当者

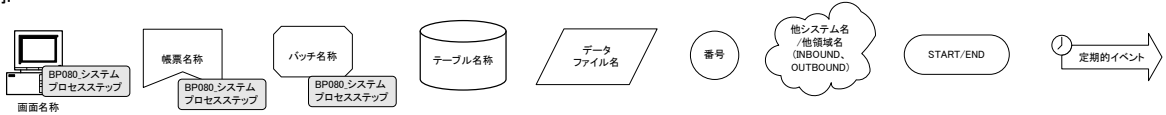
処理タイミング、その他
・随時

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_009 受注出荷帳票	説明: 受注入力後、および販売実績データ作成後に出力する帳票	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2010/07/14	更新者	SCS宮越	Ver.	
--------------------------	--------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要

受注入力後に出力する。

システム利用者

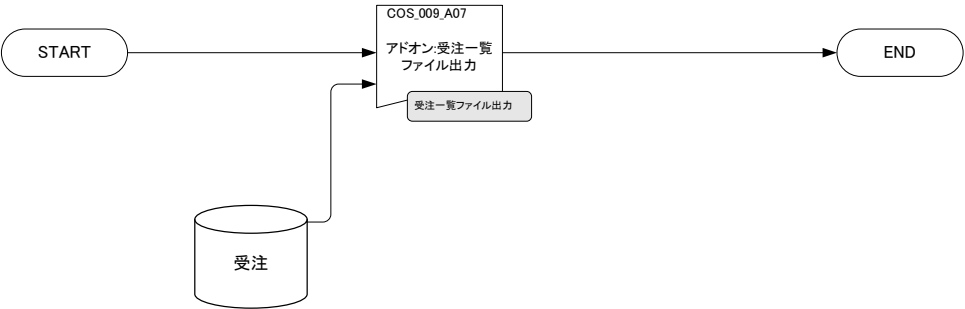
拠点 内務担当者、百貨店課 内務担当者、専門店課 内務担当者、特販部課 内務担当者、
通販部課 内務担当者、国際部 内務担当者

処理タイミング、その他

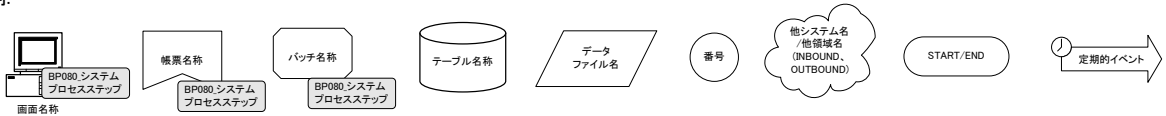
- ・随時。
- ・EDI取込からのデータのみ出力の対象とします。

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- ・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



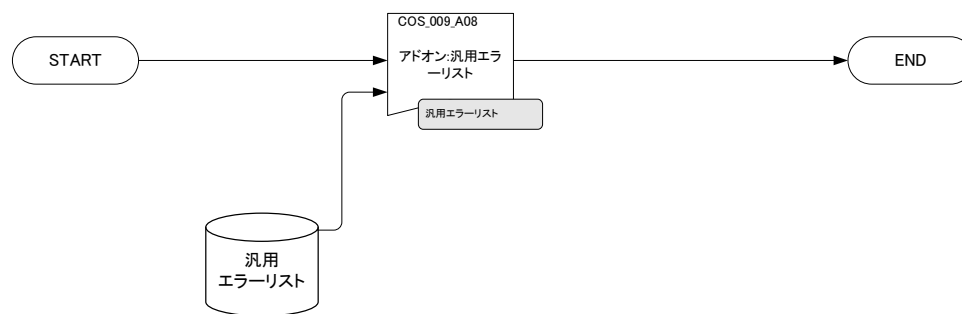
MD050_SPF_COS_009 受注出荷帳票	説明: ジョブ起動コンカレントのログを確認する機能	作成日	2010/09/02	作成者	SCS石渡	更新日	2010/09/02	更新者	SCS石渡	Ver.	
--------------------------	---------------------------	-----	------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要

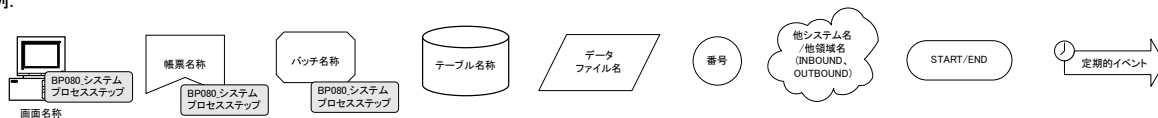
夜間バッチ等のジョブ起動コンカレントのエラーを拠点ごとに確認するために出力する。
システム利用者
拠点 内務担当者、百貨店課 内務担当者、専門店課 内務担当者、特販部課 内務担当者、
通販部課 内務担当者、国際部 内務担当者
処理タイミング、その他
・随時。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_009 受注出荷帳票	説明: 受注一覧の初回出力を一括で確認できる機能	作成日	2012/09/27	作成者	SCSK高崎	更新日	2012/09/27	更新者	SCSK高崎	Ver.	
--------------------------	--------------------------	-----	------------	-----	--------	-----	------------	-----	--------	------	--

処理概要

受注一覧の発辞状況を確認するために出力する。

システム利用者

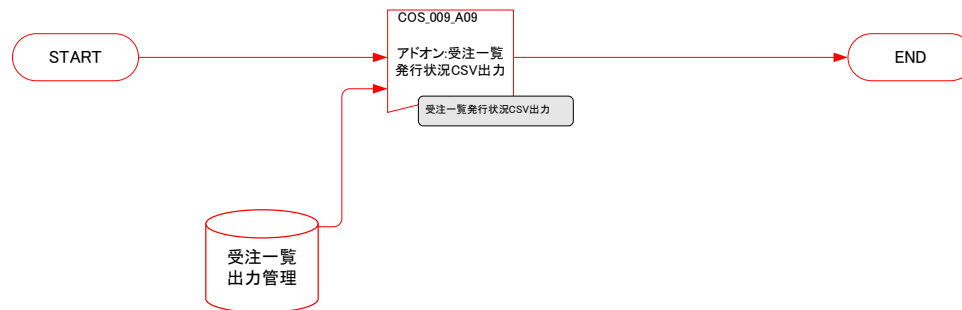
拠点_内務担当者、百貨店課_内務担当者、専門店課_内務担当者、特販部課_内務担当者、
通販部課_内務担当者、国際部_内務担当者

処理タイミング、その他

・随時。

システムプロセス 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

